

夏の味覚を一足早く

全国トップクラスのイチジク産地 JAあいち中央管内で

ハウスイチジク収穫本格スタート！

【5月16日(金) / 刈谷市内の圃場で収穫風景を紹介します】

JAあいち中央いちじく部会（部会長：竹内直人）では、加温で栽培されるハウスイチジクの収穫が5月中旬から本格的にスタートします。愛知県のイチジク出荷量は全国トップクラス。中でもJAあいち中央管内は愛知県内一の産地です。

部会では、本来、夏の味覚であるイチジクをハウスで栽培することで、春からイチジクを出荷。ハウス栽培と露地栽培を組み合わせることで、長期間にわたり消費者に美味しいイチジクを提供しています。この時期のイチジクは主に贈答品用に使われ、関東を中心に中京・北陸地方にも出荷している他、当JA農産物ネット販売サイト「碧海そだち～オンラインショップ～」でも取り扱っています。

JAあいち中央いちじく部会

- 部 会 員：127人（内、ハウス栽培は18人）
- 栽培面積：約23.4ha（内、ハウス栽培は約3.3ha）
- 出 荷 量：約275 t 見込み（内、ハウス栽培は約55 t）
- 収穫期間：ハウス栽培は3月下旬から8月上旬
（露地栽培は7月下旬から11月上旬）

<今年の生育状況>

冬から春先の寒さと加温控えにより生育が遅れ、出荷スタートは昨年より4日程遅れました。

4月に入り、気温の上昇と共に生育が進み、徐々に出荷量も増えています。病害虫の被害もなく、高品質なイチジクを出荷しています。



《メディア対応日》

- 日 時：2025年5月16日(金) / 午前7時00分
- 集合場所：JAあいち中央刈谷営農センター
（刈谷市小垣江町八角151）

※当日は、生産者のハウス（徒歩5分移動）でイチジクを収穫する様子の撮影や、生産者にインタビューしていただけます。

※イチジクの樹液に触れると、皮膚がかぶれることがありますので、取材の際には長袖、長ズボンでお越しください。

（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前にご一報ください。

■JAあいち中央総合企画部企画課広報強化対策室（担当：山村、杉浦、細井）

■TEL:0566-73-5504 / 携帯:080-3667-3853（山村） / E-mail:kouhou@jaac.or.jp